



1 学年防災講話

6月30日(木)の6・7校時に、本校の防災主任である長根彰範先生による

防災講話を実施しました。

今回の講話では、マグニチュードなどの地震に関する知識を学んだり、津波想定浸水区域の確認をしたりといった活動を行いました。

また、震災当時の気仙沼高校を知る、国語科の高橋健司先生から震災発生時の学校の様子をお話いただきました。生徒たちは、先生から語られる震災当時の高校の様子に真剣に耳を傾けていました。

●講話終了後の生徒の感想

- ・震災の恐ろしさを知るのに、震災を実際に経験したひとの話に勝るものは無いと改めて実感した。
- ・僕らは高校生であり、守られる立場ではなく、守る立場になってきているという事を強く実感した。



クイズに答える生徒たち

佐藤翔輔先生による震災・防災講演会

7月15日(金)の6・7校時には、東北大学災害科学国際研究所の准教授佐藤翔輔先生をお招きし、講演会を実施しました。

「災害をのりこえる力を身につけるためには」をテーマに、クイズを交えつつ、防災や減災とは何かを学びました。また、具体的な災害事例や実際のデータを提示していただき、過去の災害から対策を学ぶことの重要性も教えていただきました。



講演会に耳を傾ける様子

2 学年創造類型 オンラインFW

7月19日(火)に、2学年創造類型の生徒がオンラインフィールド

ワークを行いました。新型コロナウイルス感染防止の観点から、昨年度に引き続き今年度もオンラインでの開催となりました。

当日は、「課題研究Ⅰ」の活動の一環として、宮城大学、宮城教育大学、東北工業大学、東北大学の先生方とオンラインで接続し、研究に対し、個別にアドバイスをいただきました。日頃実際に研究を行っている大学の先生方に対して、研究テーマの説明をし、疑問点や課題を相談するという機会は、今後の研究活動を行う上で、非常に有意義なものとなったようです。

今回学んだことを活かし、創造類型は今後も自分たちが興味を持ったテーマをより一層深めていくとのことです。

SDGsマルシェ

6月26日(日)に仙台のアーケード街を会場に「SDGsマルシェ2022」

が開催されました。本イベントは尚絅学院大学が主催しており、高校や大学、企業などが行っている様々なSDGsの取り組みを紹介するといったものです。気仙沼高校からは3学年創造類型の生徒が参加し、気仙沼高校の課題研究活動について、熱心かつ丁寧に説明しました。当日、尚絅学院大学SDGs運営委員が、参加した団体のブースを採点し、各賞を贈りました。その結果、気仙沼高校は見事「高校部門賞」を受賞いたしました。今後もこのように本校の探究活動をより一層外部へ向け発信していく予定です。



ブースで取り組みを説明